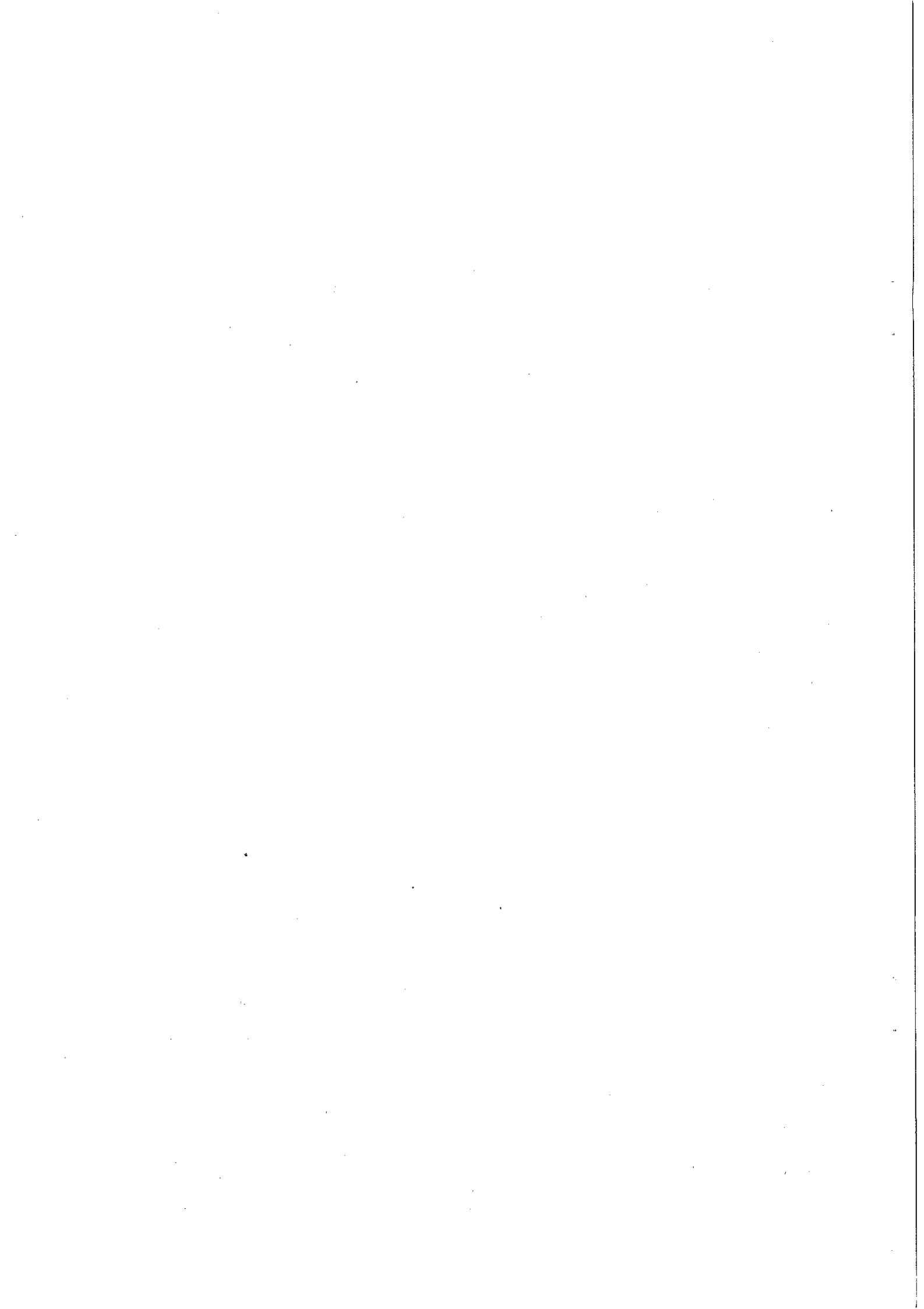


平成 28 年 2 月 24 日開会

## 市議会定例会提案説明

(議案第 3 号～議案第 46 号)

(報告第 1 号～報告第 5 号)



本日は、平成28年第1回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には何かとご多用の中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

今定例会では、新年度の予算案のほか、諸議案のご審議をお願いするわけですが、議案をご説明申し上げる前に、市政に臨む所信の一端を申し述べたいと思います。

平成28年度は、私の任期の仕上げの年であります。

これまで、議員の皆様をはじめ、多くの方々のご支援、ご協力をいただきながら、市政の舵取りを進めてきたところであり、そのことに対しまして、関係各位に厚くお礼を申し上げる次第であります。

本年は、この4年間を総括する年としていきたいと考えております。

「桑名市総合計画」をもとに、「桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」とともに、本市が持続可能で魅力あるまちになっていけるよう、さまざまな施策を推進してまいります。

市民の皆様の安全・安心な暮らしを守り、利便性や快適性の向上を図る「暮らしやすいまち」を、また、就任してからこれまで行ってきました「桑名をまちごとブランド」にしていくためのブランド推進の取り組みなどにより「住んでみたいまち」を、また、子どもを安心して産み育てられ、さまざまな世代が交流する「住み続けたいまち」、地域産業を活性化するなど「働きやすいまち」の創生を目指してまいります。

さらには、民間の皆様のノウハウやアイデアを公共サービスや事業に活用していこうとする「公民連携」の考え方をこれからも継続しながら、総合計画で目指す将来像であります「次世代へ続く快適な暮らしの中でゆるぎない魅力が本物として成長し続けるまち」に向かって、市に関わる皆様とともに、全員参加型でさまざまな課題解決にチャレンジしてまいります。

また、平成28年は「インバウンドを意識する年」にしていきたいと考えております。

5月の「伊勢志摩サミット」を前に、4月には、「2016年ジュニア・サミットin三重」が、本市を主会場として開催されることをはじめとしまして、今年秋には、桑名石取祭をはじめとする全国33件の「山・鉾・屋台行事」が、ユネスコの無形文化遺産に登録されることが期待されています。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるボート競技等の事前キャンプ地の誘致に向けた働きかけを海津市・愛西市とともに進めているところであります。

なかでも、ジュニアサミットは、G7をはじめとする世界各国の中高生が一堂に集まり、環境問題などについて議論をする場であり、世界に向けて桑名の素晴らしさをアピールできる千載一遇の機会であると捉えております。

総合計画のビジョンの一つ「世界に向けて開かれたまち」の実現に向け、次世代を担う子どもたちの国際的な感覚が高まるような取り組みを進めていきたいと考えております。

市民会議を中心として、市民の皆様と一緒に、成功に向けて全力で取り組んでまいります。

さらには、この機会を通じ、今後一層、国外からの観光客（インバウンド）やMICE（国際会議など）の招致を促進し、観光の産業化、地域経済の活性化につなげていきたいと考えております。

海外の方を含めた本市への来訪者の増加と、それによってもたらされる経済波及効果が地域に及ぶよう、市が一体となって「国際力豊かなまち」の創生を目指し、戦略的な取り組みを進めていきたいと考えております。

「桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標の一つであります「インバウンド」に関する施策を進め、本市が戦略的に地域経済により良い効果をもたらしていくためにも、本年度の取り組みは、重要であると考えております。

また、昨年から動き出した本市に関係する主要なプロジェクトも軌道に乗せていく必要があります。

桑名市総合医療センターの新病院建設については、平成30年4月の開院に向けて、総合医療センターとしっかりと連携をとり、準備を万全にしてまいります。

伊勢大橋架け替え工事をはじめとした国道1号桑名東部拡幅事業、昨年11月に部分開園した国営木曾三川公園桑名七里の渡し公園などについても、国と協力しながら、早期の完成に向けた調整を図っていききたいと考えています。

桑名市における未普及地域の持続的かつ効率的な污水处理システム「桑名モデル」の構築により、今後、概ね10年程度で、下水道普及率90%を目指すべく、重点的な整備範囲について、コストキャップ型の下水道整備を加速的に進めていきたいと考えております。

昨年度からスタートしました「地域包括ケア計画」は、全員参加型で2025年問題を乗り越えるための地域支え合い体制づくりを構築していく重要な取り組みであります。

「通いの場」に代表されるような、健康寿命を延ばし介護予防につながる、地域住民の自主的な活動を後押しできるよう、働きかけや支援を行ってまいります。

このような施策を進めることで、市民の皆様の実生活の安全・安心を守るとともに、まちの魅力、ブランド力をさらに高め、住んでいて誇りが持てる、住み続けたい、また、住みたくなるまちとして、桑名市が選ばれるよう努めてまいります。

さて、国の政策や景気動向に目を向けますと、内閣府が、今日15日に発表しました2015年10～12月期の国内総生産（GDP）速報値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比0.4%減、年率換算で1.4%減となり、2四半期ぶりのマイナス成長となりました。暖冬等の影響もあり、国内需要に弱さが見られるようであります。

また、政府は、昨年12月発表の「平成28年度経済見通しと経済財政運営の基本的態度」の中で、「今後の経済財政運営に当たっては、これまでのアベノミクスの成果の上に「デフレ脱却・経済再生」と「財政再建化」を双方共に更に前進させる。」、「一

億総活躍社会の実現に向け最優先で推進する必要がある「緊急対策」に取り組むことにより、民間の取り組みともあいまって、投資促進・生産性革命の実現や消費喚起等を推進し、デフレ脱却を確実なものとし、足元の景気をしっかり下支えする。」としています。

日銀が2%の物価上昇を目指し、マイナス金利を導入する追加緩和を決めたことなど、経済の好循環への取り組みは見られるものの、市民の皆様が手ごたえを感じるには至っていないと思われまます。

2年目となります地方創生の本格展開等とともに、景気回復や経済の活性化を地方が真に実感できる、効果が「見える化」される取り組みに期待を寄せる次第であります。

次に、市の財政状況についてであります。

既にご承知のとおり、平成26年度決算における経常収支比率が99.7%となり、2年連続で県下ワースト1位となりました。

これに加えて、財政調整基金をはじめとする現金残高の不足という二つの大きな課題に取り組む必要があります。

そこで、平成28年度当初予算については、前年度に引き続き、財政健全化に向けたさまざまな取り組みを行いました。

財政健全化に向けた取り組みの柱は、第一に歳出の削減となりますので、市民の皆様の生活にできるだけ大きな影響のない経費について、見直しを図ったところであります。

歳入面においても、アベノミクスの経済効果が徐々にあらわれ、地方税については、1%程度の伸びが、株式の配当及び譲渡所得などに係る各種交付金についても、相当の伸びが見込めたところであります。

この結果、平成28年度の当初予算編成方針の目標として掲げました、財政調整基金からの繰入額は、前年度同様の10億円以下とすること、財政調整基金が減少をしていく原因の一つとなっておりました前年度繰越金についても、平成27年度当初予算の半分程度とすることを達成いたしました。

さらに、前年度まで、基金から繰り入れておりました事業への充当についても極力抑制し、平成28年度当初予算においては、前年度比の一般財源ベースで、5億円程度の縮減効果が得られたところであります。

まだまだ楽観できる状況ではありませんが、私の就任以来の課題となっておりました、病院整備事業に一定の目途がたち、土地開発公社の解散に向けた道筋をつけ、同時に財政健全化へ向けて、ある程度の成果が見られたことで、平成28年度は、一つのターニングポイントになると考えております。

今後、いよいよ人口減少時代に突入していくなかで、地方行政における財源も限られ、行政の力だけで公共サービスを継続していくことには、限界があると捉えています。

市民の皆様、企業の皆様、関係する機関といった、市政に関わる全ての皆様と行政とが全員参加型で力を合わせ、課題解決に向けたさまざまな取り組みを進めることにより、今後も、本市が持続可能な行財政経営を進めていけるよう努めてまいります。

それでは、あらためまして、市政運営の概要を総合計画の7つのビジョンに沿って、申し述べさせていただきます。

まず、「中央集権型から全員参加型の市政に」では、これまでの「どこでも市長室」「市長カフェ」「市長とどこでもトーク」といった市政の課題を一緒に考える取り組みに加え、昨年度から進めております公民連携提案制度といった市の事業に参画していただける取り組み、また、オープンデータポータルサイトの活用や、「ジュニア・サミット桑名市民会議」のようなオール桑名で国際イベントを企画し運営していく取り組みなど、市に関わる皆様の積極的なご参加で、一体感を得ていただける仕組みづくりに努めてまいります。

次に、「命を守ることが最優先」では、災害情報の収集・伝達手段として効果的なデジタル同報系防災行政無線につきまして、本年度から設置工事に着手いたします。

さらに、災害発生時の応急対策の円滑化や、平常時の市民の防災意識高揚を図るための防災拠点施設の整備も引き続き進めてまいります。

次に、「こどもを3人育てられるまち」では、昨年度からスタートしました子ども・子育て支援事業計画に基づき、全員参加型の子ども・子育て支援に取り組む体制づくりを進めてまいります。

さらに、学校生活を中心とした児童生徒を取り巻くさまざまな課題の解決に向け、ケースに応じてスクールソーシャルワーカーを学校に派遣します。

また、児童数の増加が続く大山田東小学校の校舎を増築し、教室不足に対応してまいります。

次に、「世界に向けて開かれたまち」では、ジュニアサミットをはじめとする国際交流イベントの開催や、小中学校における英語活動の充実にも努めてまいります。

次に、「地理的優位性を活かした元気なまち」では、将来の人口減少・超高齢社会に対応できるよう、立地適正化計画の策定や駅周辺施設の整備を進め、都市機能の集約をはじめとするコンパクトシティ構築に向けた取り組みを進めてまいります。

次に、「桑名をまちごとブランドに」では、昨年度、プレイベントとして実施しました「桑名ほんぱく」の本格開催や、「桑名石取祭の祭車行事」を含む、「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録を期待した行事の開催などにより、本市の魅力再発見と積極的な情報発信に取り組んでまいります。

最後に、「納税者の視点で次の世代に責任ある財政に」では、後年度の市の財政負担の軽減等を図るべく、桑名市土地開発公社につきまして、平成29年3月の解散に向けて、その手続きを進めてまいります。

また、昨年6月に公表いたしました公共施設等総合管理計画に基づき、市が保有する公共施設等の最適化に引き続き取り組んでまいります

以上、市政の運営方針について、大要を述べてまいりました。

人口構造をはじめ、社会が大きく変化している今、課題も数多くございます。

それらの課題に対応していくためには、議員の皆様をはじめ、市民の皆様のご理解、ご協力をいただくことが、何より重要でございます。

今後も引き続き、皆様方のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは、ただいま上程されました一般会計及び各会計の予算をはじめ、条例の制定、改正等各議案につきまして、議事日程の順序に従い、その大要を順次ご説明いたします。

議案第3号「平成28年度一般会計予算」について、歳出から主なものをご説明申し上げます。

まず、総務費では、平成29年1月の運用開始を目途に、住民票、印鑑証明書のほか、税の証明書について、コンビニエンスストアで交付を受けていただくことができるよう、準備を進めてまいります。

また、新しい地方公会計制度に基づき、平成28年度決算から複式簿記による財務書類等の公表が義務付けられておりますので、その基となるデータを作成するための固定資産台帳整備に取り組みます。

このほか、将来の財政経営を見据え、各種基金への積立金を計上いたしました。

次に、民生費では、市内の私立保育園2園の改築や大規模修繕等に対する補助金を計上しましたほか、山崎乳児保育所の乳児棟の耐震診断を実施し、園児の安全の確保に取り組みます。

また、桑名地区薬剤師会に委託し、後期高齢者に対する健康お薬訪問相談事業を実施してまいります。

このほか、低所得者に対する消費税率の引き上げによる影響を緩和するため引き続き支給する臨時福祉給付金と、賃金引き上げの恩恵が及びにくい低所得の高齢者等に支給する年金生活者等支援臨時福祉給付金の給付に要する経費を計上いたしました。

次に、衛生費では、新病院の開院に向け、施設整備や医療機器整備に係る経費など

を計上いたしましたほか、がん等の早期発見及び早期治療に繋げるため、各種検診を実施いたします。

また、現在、直営で行っております可燃ごみ、プラスチックごみの収集業務について、清掃センターの職員の減少に伴い、業務を委託する費用を計上いたしました。

次に、農林水産業費では、伊曾島漁港の整備事業として、防災安全施設の整備工事を実施し、平成28年度中の完成を目指してまいりますほか、蛸塚大溜池の改修にかかる事業計画策定のための委託料を計上いたしました。また、長島地区の塩害対策として、除塩管の整備を行ってまいります。

次に、商工費では、観光協会の一本化に向けて、桑名市観光協会の事務局を、市役所内から外部に移すための費用を計上いたしました。

また、消費生活啓発事業といたしまして、相談窓口の存在を市民の皆様にお知らせし、消費生活におけるトラブルを未然に防止できるよう啓発に取り組んでまいりますほか、観光振興策の推進に資するため、観光振興基金を設置し、積み立てをいたします。

次に、土木費では、全国的な課題となっております空き家対策について、国の特別措置法の施行を受け、平成27年度の状況調査に引き続き、空き家の所有者を特定して、意向調査を行うとともに、市内の空き家のデータベース化を行い、空家対策協議会を設置して、対策計画を策定いたします。

このほか、蓮花寺地区において、ゲリラ豪雨等による浸水被害が多発しておりますことから、地区内にあります桑名福祉センター内のグラウンドに、調整池の機能を持たせる工事を施工し、被害の軽減を図ってまいります。

また、桑名駅周辺の整備につきましては、東西自由通路及び橋上駅舎化に関する実施設計を行いますほか、桑名駅東の広場整備を行ってまいります。

これと並行しまして、桑名駅西土地地区画整理事業では、地区内を通ります蛸塚益生線並びに区画道路等の整備工事を行うとともに、事業の推進を図るため、建物の移転補償を進めてまいります。

次に、消防費では、桑名地区の沿岸を中心とする浸水想定区域に、デジタル同報系防災行政無線を整備しますほか、平成27年度の津波避難計画の策定に引き続き、洪水避難計画の策定に取り組んでまいります。

このほか、星見ヶ丘に整備を進めております防災拠点施設につきましても、進入路の拡幅工事を進めてまいります。

次に、教育費では、市内5つの中学校区において、小中学校の9年間を見通した基本的な生活習慣・学習習慣を定着させるとともに、小中学校の教員が互いの教育への



理解・関心を高めるなど、一貫した教育が進められるように研究を進めてまいります。

また、初版から15年を経過しております人権教育に関する副読本「あゆみ」について、改訂版を作成し、平成29年度からの活用を目指してまいります。

このほか、「桑名石取祭の祭車行事」を含む「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産への登録が、今年のおきに期待されておりますので、これに関するイベントや博物館での特別展を開催する費用を計上いたしました。

続きまして、歳入の主な状況について申し上げます。

まず、歳入の根幹である市税についてであります。

個人市民税は、景気が回復基調であることから27年度の実績を勘案し、若干の増加を見込んでおります。

法人市民税は、税制改正に伴う法人税割の税率引き下げの影響により、減少を見込んでおります。

固定資産税のうち、土地につきましては、負担調整措置の変更により若干の減少になると見込んでおりますが、家屋につきましては、新築物件の増加に伴う増加を見込んでおります。また、償却資産につきましては、企業による設備投資の見込みから、わずかながら増加を見込み、固定資産税全体では、若干の増額計上となっております。

このほか、軽自動車税は、税制改正による税率変更により、増額を見込んでおります。

また、市たばこ税は、27年度の実績を踏まえ、若干の増額と見込みましたほか、入湯税は減額を、都市計画税は、固定資産税と同様に土地については減額を、家屋については増額を見込んでおります。

この結果、市税全体では、27年度と比較して1%程度の増額を見込みました。

次に、地方譲与税につきましては、地方財政計画等を踏まえ、27年度並みで計上いたしました。

利子割交付金、配当割交付金及び株式等譲渡所得割交付金につきましては、27年度の交付状況及び地方財政計画に照らし、それぞれ増減を見込んでおります。

地方消費税交付金につきましては、27年度の実績や社会保障財源分の伸びを勘案し、約14%の増加を見込み、計上いたしました。

自動車取得税交付金につきましては、エコカー減税の影響を踏まえ、若干減額して計上いたしました。

地方特例交付金につきましては、地方財政計画を踏まえ、若干増額して計上いたしました。

地方交付税は、27年度から、合併算定替の特例措置の縮減が始まっておりますことを踏まえたうえで、基準財政需要額、収入額の見込みから若干の減額計上をいたしました。

また、地方交付税の不足額を補う臨時財政対策債につきましても、地方財政計画及

び合併算定替えの影響を勘案し、27年度から4億5千万円の減を見込みました。

この結果、地方交付税と臨時財政対策債を合わせて、5億円の減額を見込んでおります。

次に、分担金及び負担金並びに使用料及び手数料は、27年度実績などを勘案し、この程度を計上し、国・県支出金及び市債につきましては、歳出事業に応じて所要の額を計上いたしました。

また、寄附金につきましては、28年度もふるさと納税にしっかりと取り組むことを前提に、27年度の実績を踏まえて、積極的に増額を見込みました。

繰入金につきましては、財政調整基金からの繰入額を予算編成方針に沿って、この程度を繰り入れ、収支の均衡を図ったところであります。

最後に、予算編成方針の中でも、最重要の課題となっておりました前年度繰越金につきましては、歳入の精査及び歳出の削減に取り組み、前年度から50%を減額して計上をいたしました。

次に、議案第4号「平成28年度国民健康保険事業特別会計予算」について、ご説明申し上げます。

歳出では、保険給付費や後期高齢者支援金、共同事業拠出金などについて、医療費実績の動向などから推計し、計上いたしました。

一方、歳入では、保険税は、最近の加入者数及び収納実績に基づいて計上し、国・県支出金及び前期高齢者交付金につきましては、医療給付費等の動向を勘案し、計上いたしました。

次に、議案第5号「平成28年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」につきましては、貸付金の収納及び地方債の償還に要する経費を計上いたしました。

次に、議案第6号「平成28年度市営駐車場事業特別会計予算」につきましては、末広駐車場の運営費及び施設改修費や地方債の償還に要する経費を計上いたしました。

次に、議案第7号「平成28年度農業集落排水事業特別会計予算」につきましては、処理場施設の機能維持などの経費と地方債の償還に要する経費を計上いたしました。

次に、議案第8号「平成28年度介護保険事業特別会計予算」につきましては、27年度からスタートしております桑名市地域包括ケア計画に基づき、保険給付費などを見込んだほか、地域支援事業の充実に要する経費を計上いたしました。

次に、議案第9号「平成28年度後期高齢者医療事業特別会計予算」につきましては、

広域連合構成団体の納付金や賦課徴収事務に要する経費を計上いたしました。

次に、議案第10号「平成28年度地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計予算」につきましては、歳出に新病院整備に係る貸付金、交付金などを計上し、その財源として、歳入に病院事業債、一般会計繰入金及び地域医療再生臨時特例交付金を計上いたしました。

次に、議案第11号「平成28年度水道事業会計予算」につきましては、施設の耐震調査のほか、配水管布設替え等に要する経費を計上いたしました。

次に、議案第12号「平成28年度下水道事業会計予算」につきましては、汚水管路整備事業費や雨水ポンプ施設整備に必要な経費のほか、地方債償還の経費を計上いたしました。

次に、議案第13号「桑名市固定資産評価審査委員会条例の一部改正」につきましては、地方税法の一部改正並びに行政不服審査法の全部改正及び行政不服審査法施行令の制定に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第14号「桑名市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正」につきましては、就学援助費の支給事務に関して、個人番号を利用するため、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第15号「桑名市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正」につきましては、地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行等に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第16号「桑名市職員の退職管理に関する条例の制定」につきましては、地方公務員法の一部改正に伴い、職員の退職管理に関し必要な事項を定めるため、条例を制定するものであります。

次に、議案第17号「桑名市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正」につきましては、地方公務員災害補償法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第18号「桑名市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正」につきましては、国家公務員の一般職の職員の給与に関する法律の改正に伴い、国の指定職職員の期末・勤勉手当の支給割合に準じている議員の期末手当

支給割合を改正するものであります。

次に、議案第19号「桑名市職員給与条例及び桑名市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正」につきましては、国家公務員の一般職の職員の給与に関する法律、地方公務員法及び地方独立行政法人法等の改正に伴い、給料表等所要の改正を行うものであります。

次に、議案第20号「桑名市観光振興基金条例の制定」につきましては、観光振興施策の推進に要する経費の財源に充てるため、基金を設置するものであります。

次に、議案第21号「桑名市市税条例の一部改正」につきましては、個人番号の利用の取扱いについて、一部の手続で見直す方針が国から示されたことに伴い、所要の改正を行うものであります。

次に○議案第22号「桑名市手数料条例の一部改正」につきましては、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の施行等に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第23号「桑名市子ども・子育て会議条例の一部改正」につきましては、組織改編に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第24号「桑名市深谷共同墓地条例の一部改正」につきましては、深谷共同墓地の地番変更に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第25号「桑名市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正」につきましては、厚生労働省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第26号「桑名市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正」につきましては、厚生労働省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第27号「桑名市大型共同作業場条例の一部改正」につきましては、大型共同作業場の地番変更に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第28号「桑名市建築審査会条例の一部改正」につきましては、建築基準法の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第29号「桑名市火災予防条例の一部改正」につきましては、総務省令の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第30号「桑名市就学援助条例の制定」につきましては、経済的理由により就学が困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して、学校教育法の規定に基づき、必要な援助を行うため、条例を制定するものであります。

次に、議案第31号「桑名市体育施設条例の一部改正」につきましては、深谷野球場の地番変更に伴い、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第32号「桑名市指定金融機関の指定」につきましては、本市の公金の収納及び支払いの事務を取り扱う金融機関に、本年6月1日から、株式会社大垣共立銀行を指定するものであります。

次に、議案第33号「財産の無償貸付け」につきましては、現在、三岐鉄道北勢線の鉄道用地として三岐鉄道株式会社に無償で貸し付けている土地を引き続き3年間無償で貸し付けようとするものであります。

次に、議案第34号「市道の認定及び変更」につきましては、東方地区において、市道蛸塚益生線跨線橋部の供用開始及び区域の変更に伴い、3路線を新規認定、1路線を変更し、力尾地区において、土地区画整理事業区域内の2路線を新規認定するものであります。

次に、議案第35号「桑名市土地開発公社の解散」につきましては、公有地の拡大の推進に関する法律の規定に基づき、桑名市土地開発公社の解散について、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第36号「地方財政法第33条の5の7第1項の規定に基づく地方債の許可申請」につきましては、桑名市土地開発公社の解散に際して、第三セクター等改革推進債の発行許可を申請するにあたり、地方財政法の規定に基づき、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第37号「桑名市土地開発公社の解散に伴う契約上の地位の移転」につきましては、桑名市土地開発公社が多度町小山土地区画整理組合と締結しております土地の売買契約について、契約上の地位を桑名市へ移転することについて、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第38号「平成27年度一般会計補正予算（第7号）」について、歳出の主なものからご説明を申し上げます。

まず、総務費では、公的機関の情報漏えいが問題化する中、国から情報セキュリティの強化が求められておりますことから、L G W A Nの接続とインターネットの接続を分離するなど、庁内システムのセキュリティ強化に取り組みます。

また、地方財政法の規定に基づき、26年度の繰越金の半分相当額を財政調整基金へ積み立てを行いますほか、土地の売り払い収入を減債基金へ積み立てをいたします。

民生費では、国民健康保険事業特別会計など各特別会計への繰出金について、増額あるいは減額して整理いたしましたほか、生活保護受給者の増加に伴い、生活扶助、医療扶助などに係る費用を増額いたしました。

衛生費では、独法移行前の在職期間に係る退職手当負担分について、人数増により増額をしたほか、新病院整備の進捗状況に合わせて、出資金、貸付事業特別会計への繰出金を減額いたしました。

続きまして、歳入の主なものについて申し上げます。

市税につきましては、実績により個人市民税及び法人市民税を増額いたしました。分担金及び負担金並びに国・県支出金につきましては、それぞれの実績見込みなどにより整理を行いました。

地方交付税は、追加交付分を含め、実績により増額いたしました。

繰入金では、財政調整基金からの繰り入れを減額調整し、収支の均衡を図りました。

市債は、適債事業の確定に伴うものなどであります。

臨時財政対策債は、発行上限額に基づき、減額をいたしました。

次に、議案第39号「平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）」につきましては、国の制度変更及び実績見込みにより保険給付費などの精査をいたしました。

次に、議案第40号「平成27年度市営駐車場事業特別会計補正予算（第1号）」につきましては、事業収入の増に合わせて、一般会計へ繰り出し、基金への積み立てを行う費用を計上いたしました。

次に、議案第41号「平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）」につきましては、使用料の収入減額などに伴う整理をいたしました。

次に、議案第42号「平成27年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）」につきましては、実績見込みにより保険給付費や地域支援事業費を整理いたしましたほか、

介護給付費準備基金への積み立てをいたしました。

次に、議案第43号「平成27年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）」につきましては、実績見込みにより広域連合納付金の増額などをいたしました。

次に、議案第44号「平成27年度地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計補正予算（第4号）」につきましては、事業の進捗状況に合わせて事業費を減額するとともに、地方債利子の減額をいたしました。

次に、議案第45号「平成27年度水道事業会計補正予算（第3号）」につきましては、事業の実績に伴い、収支予算において所要の整理をいたしました。

次に、議案第46号「平成27年度下水道事業会計補正予算（第3号）」につきましては、事業の実績に伴い、収支予算において所要の整理をいたしました。

以上、上程の各案件につきまして大要をご説明申し上げます。  
よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

続きまして、報告5件についてご説明申し上げます。

まず、報告第1号「桑名市土地開発公社の経営状況に関する書類の提出」について申し上げます。

主な内容についてであります。平成27年度補正予算（第2号）では、土地売却事業といたしまして、桑名市総合運動公園ほか2事業において事業費を減額いたしました。

そのほか、事務執行に伴う残額の整理を行い、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ60億3,397万円となっております。

次に、平成28年度の事業計画、資金計画及び予算について申し上げます。

土地売却につきましては、桑名駅西土地区画整理事業ほか4事業について、売却を予定しております。

このほか、事務管理費及び売却による借入金の元利償還金などを計上いたしており、予算総額は、11億6,192万1千円となっております。

次に、報告第2号「一般財団法人桑名市文化・スポーツ振興公社の経営状況に関する書類の提出」について申し上げます。

平成27年度補正予算（第1号）につきましては、事務執行経費に係る所要の整理を行い、補正後の予算総額は、収入支出それぞれ1億7,874万9千円となっております。

次に、平成28年度の事業計画につきましては、魅力あるまちづくりの活性化を図り、

また、次世代を担う子どもの育成と生涯学習、生涯スポーツ、文化振興に取り組んでまいります。

当該事業年度の収支予算につきましては、指定管理者としての管理運営事業費などを計上いたしており、予算総額は、1億7,767万8千円となっております。

次に、報告第3号「専決処分の報告」につきましては、議決により委任を受け、市長が専決処分することができる事項として指定されている損害賠償について、この度、相手方と和解が成立いたしましたので、専決処分し、地方自治法第180条第2項の規定に基づき、議会に報告するものであります。

次に、報告第4号「議決事件に該当しない契約」につきましては、セキュリティおよびネットワークシステム機器等更新一式の賃貸借について、長期継続契約を締結いたしましたので、ご報告申し上げます。

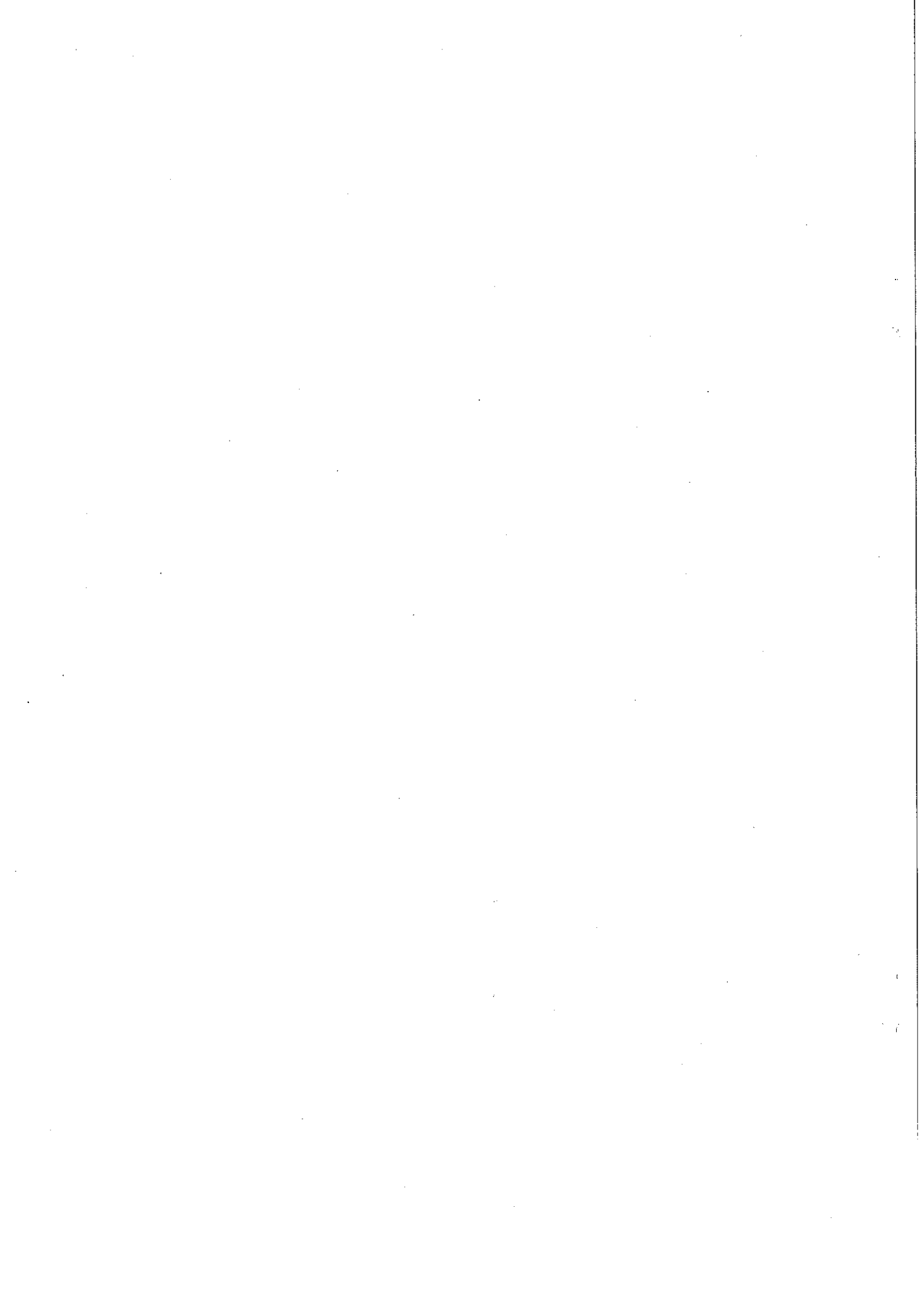
次に、報告第5号「議決事件に該当しない契約」につきましては、福祉総合システムサーバ機器等更新一式の賃貸借について、長期継続契約を締結いたしましたので、ご報告申し上げます。

以上、ご報告申し上げます。  
よろしくお願い申し上げます。



平成 28 年 2 月 24 日開会

市議会定例会提案説明  
(副市長補足説明)



平成 28 年度一般会計予算の編成について、総括的に補足説明を申し上げます。

平成 28 年度当初予算の編成に当たりましては、これまでも申し上げてまいりましたとおり、99.7%と県下ワースト 1 位となっております経常収支比率と、財政調整基金をはじめとする現金残高の不足への対策を講ずるため、歳入の確保を図りつつ、歳出については厳しい査定をすることとなりました。

予算編成の方針としましては、市民生活に極端な影響を与えない事業を中心に見直しを図ることを基本とし、昨年度と同様に賃借不動産の見直しなどを引き続き進めること、内部事務において、努力をすれば削減が可能なところはしっかりと見直しを図るなどの点に重点を置いてまいりました。

同時に、昨年度から予算構造の分析を行い、本市の持つ予算の構造的な改革にも取り組んでまいりました。

市の予算構造の最大の課題は、財政調整基金が年々減り続けていくところにあります。

そこで、昨年、平成 27 年度予算編成では、まず、財政調整基金の繰入額を 10 億円以下にして予算編成を行うことを目標に取り組みました。

しかしながら、繰入額を 10 億円以下にしましても、減少に歯止めをかけることができず、さらに原因の分析を進めたところ、財政調整基金が増えないもう一つの原因は、当初予算において、前年度繰越金を決算剰余金とほぼ同額計上しているところにあります。

決算剰余金については、その 2 分の 1 以上を翌々年度までに財政調整基金に積み立てるか、若しくは、起債の繰上償還に充当することが地方財政法で定められています。

しかしながら本市の場合、決算剰余金のほぼ全額を当初予算で歳入として計上しているため、財政調整基金の積立てを行うときには、既に財源がなくなってしまう状況にあります。

これは、歳出が肥大化して、繰越金を 10 億円見込まなければ、当初予算を組むための歳入の確保ができないからであります。

また、当初予算で既に財政調整基金から毎年 10 億円以上取り崩し、加えて、補正予算のたびに財政調整基金を財源に補正を行うことなどが本市の予算の最大の問題点であります。

そこで、平成 27 年度は、補正予算の財源に、財政調整基金の繰入れを行うことを止め、併せて、平成 28 年度当初予算では、財政調整基金の繰入額については、前年度同様 10 億円以下としつつ、当初予算に計上する前年度繰越金の額を半減させるよう指示をいたしました。

この結果、まず平成 27 年度につきましては、今回の補正予算第 7 号まで財政調整基金からの繰入をすることなく、予算の編成を行いました。

そして、今回上程いたしました補正予算第 7 号では、5 億円余の財政調整基金を積み立てることができました。

この結果、補正予算第 7 号を終えたところでの財政調整基金の残高は、約 33.1 億円と、平成 26 年度末からほぼ減少せずに済んでおります。

一方、平成 28 年度当初予算では、先ほど申し上げましたとおり、10 億円を計上していた前年度繰越金を 5 億円に削減をして編成をいたしました。

減額をしました 5 億円につきましては、他の歳入で補うか、さもなければ歳出を抑制する必要があります。

そのため、1,000近くある事業をすべて見直し、できる限り市民の皆様の生活に直結しないところを中心にひとつひとつ見直しを行いました。

個々にみれば、必要のないものはありませんが、今後の市の状況を考えますと、平成28年度に土地開発公社の債務整理のために計上しました第三セクター等改革推進債の償還が翌年度以降、毎年2億円程度発生してまいります。扶助費についても相当額の伸びが見込まれる一方、地方交付税の合併算定替による段階的な縮減が年々進んでまいりますことから、さらにしっかりと持続可能な財政構造にするとともに、少しでも多くの現金を確保して、今後の少子高齢社会へ対応していなければなりません。

このような背景のもとで編成した、平成28年度当初予算については、アベノミクスによる景気対策の効果によって、税収その他の歳入の伸びも見込めたこともあり、また、並行して行いました歳出の削減によって、当初予算に計上する財政調整基金からの繰入金の額は目標を達成し、一般財源ベースで3億3千万余の削減となっております。

加えて、昨年度まで地域振興基金を充当しておりました鉄道への支援についても一般財源に振り替え、また、例年ほとんど予算を計上できなかった減債基金、公共施設建設基金などの基金にも7千万円ほど積み立てることができました。

以上のように、平成28年度予算を総括しますと、ある程度目標の達成ができたと考えており、このような編成を続けることができれば、経常収支比率の改善も見込めると考えております。

しかしながら、さらに、これから先5年、10年後の市財政を持続可能な、また、健全な財政にしていくためには、もうしばらく事業の整理を進めることが必要であると考えております。

そのため、今後は、歳出の削減と並行して、歳入の見直しも図らなければならないと考えております。

たとえば、使用料の受益者負担の適正化、他市町と比較して低く抑えられている手数料の見直し、遊休不動産の積極的な貸付けなど、金額の大小を問わず、しっかりと歳入の確保に取り組んでいかなければならないと考えております。

また、公共施設の管理の在り方や合併以来、ほとんど進めることができていない施設の統廃合についても早急に取り組んでまいりたいと考えているところであります。

今後とも議員の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。